

問 「きごりの道」の現状と活用は

答 予算措置をしながら環境整備をする



太田正治議員

【里山観光について】

問 グリーンシーズンの観光として東山に付けられた遊歩道については。

村長 昭和50年代にトレッキングの整備をし、峰方から堀之内、飯田、飯森、深空、蔵平に通じる4ルートの遊歩道があります。

問 4ルートの整備は、年に数回現地を踏査し、歩道の整備や修繕作業等を行っています。

問 近年ではトレイルランニングやマウンテンバイクの方の利用が多いと思うが、その際の整備は。

村長 イベントを主催する人達が主体的にコースを整備していただいているケースもあります。引き続き近隣地域や利用者の皆さんに協力をいただき、必要な予算措置を講じながら、環境の整備を進めていきたいと考えています。

問 ルートの中に私有地で展望のすばらしいところもあるが、借用し観光の拠点として活用する考えは。

村長 地域から利活用について要望が出されています。夢農場跡地は眺望も良好で「きごりの道」の起点でもありますので、東山一体の森林整備計画に含めながら、観光資源として活用につなげていきたいと考えています。

【自転車のみちづくりについて】

問 最近サイクリストの方々が多くなり、立ち寄りスポットともなる休憩所の整備や人材育成が必要と言われているが、どのような計画か。

村長 飲食店や商店、観光スポットの協力を得て、サイクリストが立ち寄りやすい休憩所の整備やモニターツアーを行い、自転車の速度に合わせた風景や地域の歴史・文化に触れ合えるようなツアー商品を企画し、来年行われるJR東日本の信州デイスティネーションキャンペーンにもつなげていきたいと考えています。また、休憩所や宿泊施設向けのセミナーの開催、簡単な修理をできるようなメカニック研修、里山ツアーガイドの養成を目的とした研修会、地元住民に自転車文化を醸成するための体験会なども企画します。

問 他地区で行われているような大会等を考えているのか。

村長 三市村広域連携、日本海広域観光連携と共に「自転車だつたら白馬」といわれる地域づくりを、観光局を中心に行っていきたいと考えています。また、地域や団体等が行う大会やイベントを支援すると共

【気象関連の機器設置について】

問 村内の気象関連施設の設置場所と数量は。

に、観光局を中心にイベント等の開催について、さらに検討していきたいと考えています。

問 「地域気象観測システム」通称アメダスの有線口

ポット気象計と有線口ポット積雪深計が役場の敷地内に、国土



旧嶺方スキー場より白馬三山を望む

交通省と県の雨量計が合計6カ所設置されています。地震計は防災科学研究所が設置する強震観測網で役場敷地内に設置されており、テレビ等で報道される各市町村の情報となります。また、高感度地震観測網が瑞穂地区と三日市場地区の2カ所に設置されていて、地震の揺れを検知し、震源やマグニチュードという地震の模様を決定するのに活用されています。